

★ 第 136 回 日本社会分析学会例会プログラム ★

日程：2018 年 12 月 22 日（土）～23 日（日）

会場：福岡県立大学（〒825-8585 福岡県 田川市伊田 4395）

（報告会場:3212 教室、控室:3204 教室※ともに 3 号館 2 階）

※持ち時間は 30 分（報告 20 分：質疑 10 分）が標準です。レジュメや資料は 40 部程度ご準備ください。報告にてプロジェクター、PC が使えます。

※なお、12 月 23 日（日）は生協で「新入生の入学準備説明会」が行なわれるため、学生ホールが開いていません。12：00～13：00 は生協食堂も利用できます。

12 月 22 日(土)

開 会 12:30

自由報告部会I (12:30～14:30)

1. 「大学における留学生支援体制に関する考察」 (S) 巖 璐 (九州大学大学院)
2. 「家族・世帯の再考と『過疎地住民の生活構造における居住地の三層構造』」 (L) 徳野 貞雄 (一般社団法人 トクノスクール・農村研究所)
3. 「結婚移民の社会統合についての分析枠組み」 (S) 津村 江美 (北九州市立大学大学院)

=Coffee Break(10 分)=

自由報告部会II (14:40～16:10)

1. 「東日本大震災における遠方避難者・支援者間のネットワーク再編プロセスに関する調査研究に向けて」 (S) 横田 尚俊 (山口大学)・速水 聖子 (山口大学)・山下 亜紀子 (九州大学)
2. 「東日本大震災からの遠方避難者における当事者間相互支援活動——ひろしま避難者の会アスチカの事例」 (S) 速水 聖子 (山口大学)・横田 尚俊 (山口大学)・山下 亜紀子 (九州大学)
3. 「地域の連帯に基づく災害支援活動の分析——福岡県大牟田市の事例」 (S) 山下 亜紀子 (九州大学)・速水 聖子 (山口大学)・横田 尚俊 (山口大学)

=Coffee Break(10 分)=

自由報告部会III (16:20～17:50)

1. 「要支援者等軽度者の地域生活における住民主体のサービスの役割に関する一考察」 (S) 藤島 法仁 (長崎短期大学)
2. 「大学移転後の地域変容と地域住民——九州大学箱崎キャンパス移転を事例に」 (S) 高寄 浩平 (九州大学大学院)
3. 「性的空想を通じた親密性パラダイム批判の可能性——「リョナ 2 板」の言説分析を中心に」 (S) 松浦 優 (九州大学大学院)

懇親会 18:30～20:30「稚加栄」（田川市番田町 6-23。電話：0947-42-1245）

※福岡県立大学から徒歩 5 分程度です。 会費（有職者 5,000 円、有職者以外 3,000 円）

12 月 23 日(日)

自由報告部会IV (10:30～12:00)

1. 「当事者と臨床試験——HTLV-1 関連疾患当事者への調査を元に」 (S) 桑畑 洋一郎 (山口大学)
2. 「女子大学生／専門学校生における恋愛積極性」 (S) 中村 晋介 (福岡県立大学)
3. 「PBL 教育における震災クロスロードの活用」 (S) 三隅 一人 (九州大学)

閉 会 12:00